

「令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（千葉市分）」について

今年度を実施した、「令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（千葉市分）」について、お知らせします。

1 趣旨・目的

- (1) 児童生徒の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査概要

(1) 実施時期

令和4年4月～令和4年7月

(2) 調査対象

ア 市立小学校108校の第5学年 計7,303人

イ 市立中学校 54校の第2学年 計5,884人

(3) 調査事項

ア 実技に関する調査

イ 質問紙調査

3 結果概要（※詳細は別紙参照）

(1) 体力・運動能力の状況について

千葉市の児童生徒の体力は、体力合計点から見ると小中学校男女のすべてにおいて、全国平均を上回っている。一方、種目別に見ると小学校男女のソフトボール投げ、小学校男子の握力、小学校女子の20mシャトルラン、中学校女子の反復横とびが全国平均を下回っている。

(2) 運動やスポーツへの意識について

運動やスポーツを「好き」・「やや好き」と回答した児童生徒は、小学校男子以外は全国平均を上回っている。また、本市の令和3年度との比較では、小学校男子以外は向上している。

(3) 運動部活動の状況について

運動部活動の1週間当たりの実施時間は、男女ともに全国平均を上回っているが、昨年度と比較すると、1週間あたりの実施時間として、男子は約11.2分、女子は約19.8分短くなっている。